

学力向上のために  
—夏休みを前にした親の心構え—

開倫塾  
塾長 林明 夫

Q1：学力とは何ですか。

- (1)「学力」とは「学ぶ力」。「自らすすんで学ぶ力」
- (2)「新しいこと、今までに学んだことを、自らすすんで学ぶ力」。これが「学力」

Q2：「学力」を身に着けるためにはどうしたらよいですか。

- A：(1)長時間の自己学習が一番有効です。
- (2)「長時間」とは「全部合わせて」「合計して」を意味します。
- (3)「学び方」を身に着けることも大切です

Q3：「学力」が身に着くとどうなりますか。

- A：(1)「多様な選択肢のある人生が歩める」ようになります。
- \*人生における選択肢の幅が多様になります。
- (2)仕事や社会的活動を通して「正常に機能する社会の形成に貢献できる」ようになります。

Q4：学校での勉強(各教科の学習や教科外の様々な教育活動)は、高校や大学、専門学校で、また、社会に出て役に立つのですか。

- A：(1)役に立ちます。すべて役に立ちます。
- (2)学習は積み重ねです。高校での各教科の学習は中学校での学習が前提となっていますから、中学校でよく学習しておくことと高校での学習がよく理解でき、身に着きます。同じように、高校を卒業して多くの人が進学する大学や短期大学、専門学校は中学校・高校での学習が前提

となっていますから、中学校・高校でよく学習しておくことで大学や短期大学、専門学校での学習がよくわかります。

(3)前の学校でよく学んでおかないと、上の学校で学ぶことがよくわからず、とても困ることになります。特に、大学や短期大学、専門学校では、中学校・高校のレベルの学力が不足するとそこでの勉強についていけず、留年や退学ということにもなります。

(4)学校を卒業して社会に出て働くときも、中学校・高校での各教科の内容が身に着いているととても役に立ちます。社会的活動をする上でも、充実した豊かな人生を送る上でも、中学校・高校での勉強は役に立ちます。

(5)教科以外の教育活動もすべて上級学校での学習や社会に出てからの仕事や社会的活動、充実した豊かな人生を送る上で役に立ちます。

(6)このように、学校での学習や様々な教育活動は将来すべて役に立つものです。

(7)しっかりと学習し、学校での生活に臨むように、家庭でも支援・サポートをお願いします。学校の教科書などは絶対に捨てないようにお願いします。学校時代を思い出しながら一生かけて学び直しをすると、「よく生きる」ことに役に立ちます。

**Q 5 : 家庭でやったほうがよいこ教育とは何ですか。**

A : (1)「5S(ごえす)」

①整理(いらぬものを処分する)

②清掃(きれいに掃除する)

③整頓(ものは決まったところに置き、サッと取り出せるようにする)

④清潔(①～③を維持する)

⑤躰(決まりを守る。自分から進んで行く)

(2)別の意味の「躰」

①敬語表現を含む<sup>ことばづか</sup>言葉遣い

②美しい立居<sup>たちいふるま</sup>振舞い

(3)新聞を読み自分で考える力を身に着けること

(4) 読書により思慮深さを身に着けること

(5) 家事全般を少しずつ教え込み、一人で生活できるようにすること

(6) 金銭教育

① 収入の範囲で支出すること

② 友達同士でお金の貸借りはしないこと

Q 6 : 最後一言どうぞ。

A : (1) 「教育ある人とは一生学び続ける人」(ドラッカー先生)

(2) 「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

(3) 「健康第一(心の健康、身体の健康)」

感謝

御清聴ありがとうございました。

今までのお話や資料(林明夫著 2014 年夏「効果の上がる学習方法とは」一学力を身に着けて多様な選択肢のある人生を歩もう一)をお読みいただき、御意見や御質問・コメントなどがありましたら、お気軽に御発言ください。

